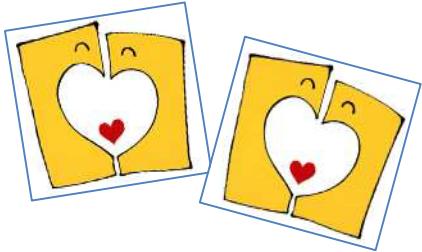


# 道徳通信

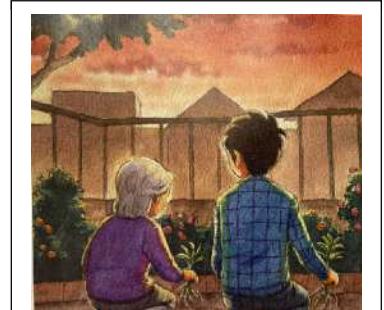


中島中学校 2学年道徳通信 No.6 R7.9.30

## 教材名『一冊のノート』(家族愛)

### 【あらすじ】

物忘れが激しくなった祖母に強い不満を抱く「僕」。ある日、祖母が誤って片づけてしまった僕の物を探すため引き出しを開けると、中から手あかに汚れた1冊のノートが出てきた。それは、祖母が少し震えた筆致でつづった日記だった。僕ら孫や家族への愛情と老いていく自分への不安が、月日を重ねて乱れていく文字で書かれていた。



### 家族愛ってなんだろう？

### 【授業の感想】

- 最初は物語にててくる孫に共感する部分が多くかったけど、おばあちゃんの日記からおばあちゃんの気持ちを全然理解できていなかったことに気づいた。これからは自分の気持ちだけを押しつけず、家族の気持ちもできるだけ理解して、感謝を忘れず大切にしていきたいと思った。
- 自分は最初、「家事をしてくれてありがとう」という感謝の気持ちがあるから向き合えると思っていたけど、友達がいっていた「病気だから仕方ない」という考えに納得しました。また、自分はたまに家族にイララしてしまうことがあるから、日頃の感謝を思い出して向き合おうと思いました。
- 家族がどんな気持ちで自分のことをしてくれているのかを知りたい。
- 一緒に住んでいる祖父母への向き合い方や態度を考えようと思った。ストレスはたまるかもしれないけど、あまり強くあたったりせず、感謝して生活しようと思った。
- 自分も家族に毎日ひどいことを言ってしまうけど、言われた家族は心の奥で悲しんでいることを知った。これからは、何でもやってくれる家族に感謝しようと思った。
- 家族は、イラツイたり、めんどくさかったりするけど、1番に考えててくれたり、思ってくれたりしてくれているということがわかりました。

本校では道徳の授業を担任の先生だけでなく、他の先生が行なうこともあります。9/17(水)は藤原先生が、9/22(月)は寺岡先生が、2年生の道徳の授業を行いました。

ご家庭でも「家族愛」について話し合ってみてください。